

2023 年度第 6 回執行理事会議事録

日程：2023 年 12 月 9 日（土）10:00-12:15 【WEB 会議】

出席：岡田 誠・杉田律子・星 博幸・中澤 努・緒方信一・保坂（内尾）優子・内野隆之
・加藤猛士・亀高正男・小宮 剛・坂口有人・高嶋礼詩・辻森 樹・松田達生・矢部 淳・山口飛鳥

監事：岩部良子

欠席：尾上哲治・狩野彰宏・山本正司（監事）

事務局 澤木

* 定足数（過半数：10）に対し、執行理事 16 名の出席

* 前回 23-5 議事録の確認。

報告事項

1. 全体的報告

特になし。

2. 運営財政部会（亀高・加藤）

1) 総務委員会

<共催・後援依頼，他団体の募集，連絡等>

- ・ 令和 5 年度技術者倫理講習会（主催：日本応用地質学会，2024/1/16，オンライン）への後援依頼があり，承諾した。
- ・ 原子力総合シンポジウム 2023（主催：学術会議，2024/1/22，日本学術会議行動&オンライン）への協力依頼があり，後援として承諾した。
- ・ 地盤技術フォーラム 2024（主催：産経新聞，2024/9/18-20，東京ビックサイト）への協賛依頼があり，承諾した。
- ・ 科学教育研究協議会第 69 回全国研究大会（埼玉大会）（8/4-8/6，埼玉県立与野高等学校，地質学会後援）の実施報告があった。大会参加者 300 名。
- ・ 地学団体研究会より「国立大学法人法の一部を改正する法律案」に反対する声明（11/22 付）の送付があった。

<会員>

1. 今月の入会者：1 名

正会員学生（3 年パック：1 名）堀江正陽（ほりえ まさあき）

2. 今月の退会者：2 名

正会員一般（2 名）

藤原弘士，佐藤李咲

3. 今月の逝去者：4 名

名誉会員（3 名）

松田時彦（逝去日：2023 年 10 月 17 日），志岐常正（逝去日：〃年 11 月 13 日）

水野篤行（逝去日：〃年 11 月 20 日）

正会員シニア（1名）

香村一夫（逝去日：2023年4月17日）

4. 2023年11月末会員数

賛助：31，名誉：34，ジュニア会員：3，正会員：3212 [一般 2154，シニア 845，学生会員 213] 合計 3280
（昨年比-26）

5. 前回(9/9)理事会以降の逝去者氏名（6名）

名誉会員（4名）坂巻幸雄（逝去日：2023年8月23日），松田時彦（逝去日：〃年10月17日），志岐常正（逝去日：〃年11月13日），水野篤行（逝去日：〃年11月20日）

正会員シニア（2名）香村一夫（逝去日：2023年4月17日），古儀君男（逝去日：〃年11月5日）

6. 年度末退会&除籍予定者【資料回覧】

①2023年度末退会予定者(35名)

②2023年度末除籍予定者(92名)

会員数の減少率が例年より緩やかになっている。学生会員の増加なども影響していると考えられるが、現在年度末除籍予定者が保留中であるので、今後の状況を見守りたい。

<会計>

特になし。

<その他>

特になし。

3. 広報部会（内尾・松田）

1) 広報委員会（内尾）

学会 HP リニューアルについて、年内に業者との打ち合わせを開始する。

4. 学術研究部会（辻森・尾上・高嶋・山口）

1) 行事委員会（高嶋・山口）

・ 2024山形大会準備状況ほか【報告資料01】

12月1日山形大会の会場を視察した。会場の都合上、企業展示とポスター会場は隣接できないが、会場内の動線に配慮した配置を検討している。業界説明会のスペースは、参加企業の増加が見込まれるため、さらなる拡張をLOCに依頼する。山形大学の後援申請が承認された。山形コンベンションへ助成金を申請中（巡検バス代の補助ほか）。

・ 京都大会巡検案内書：査読後返却中のコース2件，未投稿の1コースについて，督促等対応中。

2) 専門部会連絡委員会（尾上）

特になし。

3) 国際交流委員会（辻森・岡田）

特になし。

4) 地質標準化委員会（内野）

・ 11月末に産総研でJISの原案作成委員会が行われ，修正事項の確認を行った。詳細な議論は今後新設されるワーキンググループで行う。

5. 編集出版部会（狩野・小宮）

1) 地質学雑誌編集委員会（小宮）

(1) 編集状況報告（2023年12月5日現在）

- ・ 2023年投稿論文：54（昨年比-11）〔内訳〕総説1（和文1），論説25（和文24），ノート3（和文3），レター7（和文7），報告6（和文4，英文2），フォト2（和文2），討論1（和文1），巡検案内書8
査読中：21，受理済み：2，取下げ：1
- ・ 129巻：公開済み49（613ページ），入稿・校正中：5
- ・ 投稿数は昨年よりやや少ないものの（-10程度），公開論文は昨年より150ページほど増加する見込

2) Island Arc 編集委員会（狩野）

(1) 編集状況報告

- (2) 2023年12月末で編集委員長任期（4年）満了となる．次期についても狩野，辻森両名の再任を理事会へ上程する．（理事会審議事項へ）

3) 企画出版委員会（松田）

特になし．

6. 社会貢献部会（坂口・矢部・内野）

1) 地学教育委員会（坂口）

特になし．

2) 地質技術者教育委員会（坂口）

特になし．

3) 生涯教育委員会（矢部）

特になし．

4) 地震火山地質こどもサマースクール（星）

特になし．

5) 地質の日（矢部）

特になし．

7. その他執行理事会の下に設置される委員会及び組織

1) 利益相反マネジメント委員会（中澤）

特になし．

2) 若手育成事業検討WG（内野）

特になし．

3) 表彰制度検討WG（中澤）

特になし．

8. 理事会の下に設置される委員会

1) ジオパーク支援委員会（矢部）

特になし．

2) 地学オリンピック支援委員会（坂口）

特になし．

3) 支部長連絡会議（杉田）

特になし．

- 4) 地質災害委員会（松田）
 - ・ 特になし。
- 5) 名誉会員推薦委員会（星）
 - 特になし。
- 6) 各賞選考委員会（中澤）
 - ・ 2024 年度各賞候補者募集を締切り、功績賞 1 件、都城秋穂賞 2 件、H. E. ナウマン賞 1 件、小澤儀明賞、
柵山雅則賞 2 件、の推薦に対する選考検討委員会の設置を執行理事会に依頼した。（→審議事項へ）
- 7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会（辻森）
 - 特になし。
- 8) 連携事業委員会（中澤）
 - 特になし。
- 9) 法務委員会（中澤）
 - 特になし。
- 10) 若手活動運営委員会（星）
 - 特になし。

9. 研究委員会

- 1) 南極地質研究委員会（委員長 大和田正明）
 - 特になし。
- 2) 法地質学研究委員会（委員長 川村紀子；杉田）
 - 特になし。

10. その他

- ・ 各賞推薦時に提出する候補者の業績について、被引用指標は、Web of Science でなく Google Scholar とする方が収集し易いとの意見があった。

審議事項

1. 各賞選考検討委員の選出について
選考検討委員会メンバーについて、前、現会長、執行理事会が推薦する 8 名程度の委員の推薦があり、承諾された。順次執行理事会より各候補者へ打診を行う。
2. 2025 熊本大会の日程について（高嶋）
Thermo Japan（地質学会共催）からの依頼を受けて検討した結果、当初案の 2025 年 9 月 14 日（日）～16 日（火）が LOC として最も都合が良い。代替案は 9 月 5 日（金）～8 日（月）だが、この場合は鉱物科学会や地球化学会との調整も必要で、巡検時の暑さも注意が必要。そのため会期は 2025 年 9 月 14 日（日）～16 日（火）とし、LOC、Thermo Japan と調整する。

3. 各賞選考委員会の「選考過程」の理事会への報告事項について
標記について検討した。具体的な理事会への報告内容は次の通り。
 - ・ 選考過程における「会議の開催方法」「議論の進め方」「会議の開催日時、委員長名、出席者数」を理事会へ報告する（選考後2年間は委員名を公表しない）。
 - ・ 選考結果については、これまで同様「受賞候補者名」,「対象研究テーマまたは対象論文」,「推薦理由」を報告する。
4. 選挙開票立会人の選出
選挙開票立会人（正副会長の意向調査および理事選挙）2名の候補を選出した。候補者へ打診する。
5. カリ長石・アルカリ長石の件について
参考意見として、学会内で議論された複数の意見を文科省側に伝える。
6. 理事会資料の確認
理事会報告、審議事項、及び会議資料の確認を行った。

監事コメント

（岩部監事）各賞選考委員会の「選考過程」の理事会への報告事項について丁寧に検討いただいた。各賞選考は地質学会の重要な活動なので、今後も必要に応じて検討を進めていって欲しい。

以上

2024年1月20日

一般社団法人日本地質学会
会長（代表理事）岡田 誠
署名人 執行理事 中澤 努